

たまがわがくえん町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 徳力幹彦 ☎ 725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://tamagawagakuen-chonaiikai.net

特集・平成30年度定期総会

本年度の定期総会が4月22日(日)午後1時からさくらんぼホールで開催されました。好天に恵まれ開場前から多くの会員の方がお越しになりました。若い方も多く209名の出席となりました。総会は岸川総務部長の開会の辞、松香会長の挨拶に続いて、議長に井上宮子さん(第七地区)、副議長に木村真理子さん(第四地区)を選出し、その後このお二人の司会で議事が進められました。

◎平成29年度事業報告、決算報告ならびに会計監査報告

はじめに徳力副会長から昨年度の事業活動について、次のような報告がありました。

総務部では会議のスムーズ化と効率化。広報部では町内会だよりとホームページの充実。防犯防災部では合同総合防災訓練、防災と防犯の勉強会の実施。環境部では資源物集積所看板の総点検。高齢者部では敬老会。成人部では働いている方も参加出来るバス旅行とウォーキング企画。青少年部は餅つき体験会、フラッグアート、クリスマス子ども集い。文化部では落語会と文化講演会などが実施・開催されました。

一昨年より実施されている地区活性化事業では、地区長を中心に各地区で様々な企画の事業が実行され、非会員の方も含めて多くの方が参加して地区活性化に繋がりました。決算報告では、松尾経理部長から一般会計

について、続いて特別会計について項目ごとの詳細な報告がありました(一般会計分資料を7頁に掲載)。会計監査の森崎知子さんから、預金通帳と領収書など関係書類を精査した結果、玉川学園町内会の財産管理は極めて厳格に行われており、正確かつ妥当である旨の監査報告がありました。

質疑応答の後、採決が行われ、この三議案は満場一致で承認されました。

◎平成30年度事業計画 および予算案の審議
まず、服部副会長から平成30年度町内会活動の「方針と活動の進め方」(下欄に掲載)について説明があり、続いて各部(総務部、広報部、防犯防災部、環境部、高齢者部、成人部、青少年部、文化部)の各部長からそれぞれの部の事業計画が提案されました。前野副会長から地区活性化事業を今年も継続実施の提案がされました(2頁以下に各部の事業・活動計画を掲載)

さらに松尾経理部長から事業計画に基づく「平成30年度予算案」について説明がありました(一般会計分資料を8頁に掲載)。

◎会則の一部改訂について
前野副会長から、会則の一部改訂①第9条第1項(役員会)、②第10条(役員任期)について提案がされました。

◎「認可地縁団体」について
松香会長から、昨年提案して承認された「認可地縁団体」への移行はもう少し時間をかけて引き続き検討していきたい、と提案がされました。

◎会長、副会長、幹事、会計監査の選出
本年度は役員の変更期にあたるため、会長、副会長、

幹事(役員一覧は別表)が選出され承認されました。また、選挙世話人(代表篠原佑さん)の推薦により、昌谷康子さん(第二地区)、田村清子さん(第二地区)が本年度の会計監査に選出されました。すべての審議が終了し、新旧役員および会計監査の方々が紹介され、代表して徳力幹彦新会長から挨拶あり、平成30年度定期総会は無事終了しました。



平成30年度事業計画 —方針と活動の進め方—

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1) 防犯意識の高揚をはかり、防犯・環境パトロール隊の活動を推進し、安全・安心なまちづくりをめざします。
- (2) 防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりをめざします。
- (3) 「混ぜればごみ」「分ければ資源」廃棄物減量と資源物の活用に取り組み、循環型社会の推進をめざします。
- (4) 「広報」、「町内会だより」および「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5) 関係諸団体とも連携して、子どもから高齢者まで広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6) 会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。
- (7) 玉川学園町内会(1地区～8地区)の地区別活動推進による地域の活性化と近隣の絆の強化を図ります。
- (8) 玉川学園交通問題協議会、玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。コミュニティバス(玉ちゃんバス)の運行に協力し、交通安全のモラル向上を目指して、啓発活動を展開します。
- (9) 玉川学園地区社会福祉協議会の運営を支援します。全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (10) 「こすもす会館」「さくらんぼホール」の運営について関係自治会と協働し、その中核として、両施設の円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり、地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (11) 町田市町内会・自治会連合会、玉川学園・南大谷地区協議会等の諸団体との情報交換を密にして、地域特有の課題に積極的に取り組んで住みやすい住宅地域としての発展をめざします。
- (12) 組織体制強化に備えて、「認可地縁団体」への取り組みを引続き検討します。

会長としてのお願い

会長 徳力 幹彦



玉川学園町内会は、約4千世帯もの会員がいますが、玉川学園から東玉川学園にいたる8地区の各地区長、各地区から選ばれた32人の幹事、各地区の支部長、班長、防犯防災委員、および環境委員がこの地域を少しでも住み心地の良い町にするように励んでくれており、稀に見る活発な町内会です。

しかし、私が6年前から4年間環境部長をやっていた気がついたのは、玉川学園にはコ

ミュニティが少ないということが多かった。前会長はコミュニティ作りにも励んでくれましたが、今後、この流れをさらに強めていきたいと考えています。このコミュニティ作りの一つとして、町トレ(町田を元気にするトレーニング)などによる運動が各地区で実施されてきています。互いに運動を行うことによつて、知らない方々との間に話し合いの場ができ、コミュニティができていきます。同時に、この運動に参加された方々は、筋肉、靭帯、関節の劣化を予防するのみならず、脳や脊髄などの中枢神経系

が刺激されることによつて、認知症などの高次脳機能障害の予防にもなりますので、コミュニティを作りながら、この運動を持続して欲しいと、心から願っています。

年々プライバシー意識の高まりから、隣り近所に誰が住んでいるのか分からなくなつて来ている。近所の人の世話になるより専門業者に料金を支払って、サービスを買う方が楽という人もいらつしゃいます。地域の絆が薄れ、隣近所での子供たちの遊びも減つていようであり、この子らの成長を皆で後押しする手法は何かを考えた

と意思しています。住民がお互いに知り合いになることの方策の一つとして、各種パトロールを実施することにより、防犯力や災害時の対応力向上に努めます。空き家の様子確認や道路のゴミ拾いなどで、自分たちの住む街を改めて知ることができ、子どもたちの健やかな成長を家族だけでなく、地域で見守ることの大切さ

を改めて再確認したいと思ひます。「お互い様」という共助の関係を構築することが、町内会自治会の魅力づくりとなり、諸問題に対処しやすくなるというのを信じて推し進めたいと思ひます。特に、地域福祉とは住民や自治体等様々な組織が協力し合いながら地域の課題を解決する活動であるので、関係の深い玉川学園地区社会福祉協議会(地区社協)への参画をより積極的に取り組んで行こうと思ひます。

今年度の防犯防災部の大きな課題は、「町五小学校避難施設関係者連絡会」の活性化と「自主防災組織」のより一層の充実だと考えています。「総合防災訓練」は開設訓練を踏まえた新たな訓練を加えていく必要があるでしょう。また、「AED心肺蘇生訓練」、「スタッドバイブ操作訓練」、「白いタオル訓練」などは、各地区での実施が増えてはきましたが、まだ地区により差があります。地区毎に工夫をしてやっけて行く必要があると思ひます。多くの方からのご意見をお待ちしています。



町内会活動を一目見てわかるリーフレットは町内会事務所にあります。お引越しされてきて町内会のことをご存知ない方や町内会活動にご興味のある方には是非お渡しください。

副会長の抱負

大山憲一
(青少年部・成人部・高齢者部担当)

4年で卒業」を楽しみにしていたのですが、もう少し勉強をとの声を押しつけられた。副会長として4年間町内会に係ってまいりました。最初の2年間は環境部、後半の2年間は経理部長として同時に2地区の地区長を4年間担当させていただきました。右も左も何も分からないままのスタートでしたが皆様の力をお借りしながら町内会のこと、地域・地区のことが少しずつ見えてまいりました。「幹事

松尾宏美

(総務部・経理部・さくらんぼホール担当)

平成30年度総会にて副会長に選出されました。4年で卒業」を楽しみにしていたのですが、もう少し勉強をとの声を押しつけられた。副会長として4年間町内会に係ってまいりました。最初の2年間は環境部、後半の2年間は経理部長として同時に2地区の地区長を4年間担当させていただきました。右も左も何も分からないままのスタートでしたが皆様の力をお借りしながら町内会のこと、地域・地区のことが少しずつ見えてまいりました。「幹事

今年度の副会長を仰せつかりました。これまでは高齢者部部長と文化部部長をそれぞれ二年間務めてまいりました。その経験を生かして務めて行きたいと思っております。担当は、環境部と文化部で、両部がスムーズに活動できるように側面からお手伝いして参ります。

町内会は、昭和三十七年(1962年)に「会員数937世帯、会費月額60円」

町内会自体は、親睦任意団体であることも含めて創設以来大きな

服部知行

(防犯防災部・広報部・こすもす会館担当)

長は、同じ第6地区で長く一緒に活動してきていますので気こころも知れ、とても心強く思っています。力を合わせて「安全で安心して暮らせる街」へと進めて行きたいと思ひます。

広報部は広報部長の努力と工夫により、ここ数年の間に「町内会だより」や「ホームページ」が共にとても見やすく内容も充実して来ています。今後は、「町内会だより」のカラー化の試みや「ホームページ」の今後のあり方の検討などをして行く必要があると思ひます。多くの方からのご意見をお待ちしています。

菊地隆男

(環境部・文化部担当)

で誕生してから半世紀を優に超え、先輩幹事各位のご尽力や会員の皆様のご協力により大きく発展して今に至っております。

現在の町内会や地域が抱える課題は、会員の高齢化とそれによるコミュニティの弱体化、空き家の増加等々、多岐に亘るもので解決も簡単なものではありません。

変化も無く今日に至っていますが、会員のニーズを何処まで捉えることができるのか、今のままで良いのか、今のままで良いのかを検証する必要があるのではないかと思ひます。さらに、時代の変化に伴う法律の制定・強化(廃棄物処理法や個人情報保護法等)により幹事の負担は増加しており、これを軽減する工夫の検討が必要ではないかとも思ひます。この検証と検討を実施すべく行動してまいります。

各部・部長の抱負

防犯防災部

部長 島倉 正美

震災に対する備えで一番大切なことは何かと聞かれたら「近所や地域との繋がりで」と答えます。私は新潟で昭和39年の新潟地震(M7.5)を体験しました。長期にわたる停電と断水の中で近所同士助け合いながら震災を乗り越えました。

- 1 自身や家族の生命を守る家屋の耐震化や家具などの転倒防止の呼びかけ。
- 2 地域住民の生命を守る救出救護や初期消火などの防災訓練の実施。
- 3 震災を生き延びる水・食糧の備蓄(ローリング・ストック)、簡易トイレの備えなどの呼びかけ。
- 4 地域の備え消火用資機材、救出救護用資機材などの備蓄。

発生時には自主防災隊や地域住民と共に安否確認や救出救護、避難誘導、初期消火、避難施設の開設、在宅避難者支援などを担います。

一方、防犯活動にも取り組めます。町内会では地域住民と共に防犯と環境と高齢者の見守りを兼ねたパトロールを定期的に実施しています。特殊詐欺に対しては年々巧妙化する手口を知るために今年度も町田警察署から講師を招き勉強会を実施します。

経理部

部長 松尾 宏美

平成28年度、29年度に引き続き今年度も経理を担当することになりました。

毎年、会員の皆様が町内会費を納入して下さる事に心より感謝申し上げます。

お預かりした大切な会費を1円たりとも無駄にせず、しっかり管理してまいります。

毎年度に於ける会費減、そして資源物回収による奨励金も今迄のような金額をいただけたらどうか? 経理担当として悩み深いところですが、

青少年部

部長 大山 憲一

地域の子どもたちとの交流で、熟年が元気を貰っているとも言えるので、魅力あるイベントの開催で地域の活性化が図れればと思っております。

多世代間交流のビッグイベントとしては、10年目を迎える「フラグアート」は欠かせない行事でしょう。初心に戻って大事にして行きたいと思っております。又、伝統行事と言われる「餅つき体験会」は、親子共々期待されています。

高齢者部

部長 望月 富雄

例年の行事「敬老会」を昨年も敬老の日

参加者アンケート、反省会での意見等を参考に町田第五小学校・体育館をお借りして行うことが出来、参加者のアンケート結果から成功と喜んでいました。

しかし、過去の記録を調べてみますと、いろいろな面で改善すべき事があることが分かりました。解決すべき主要な事項は不公平感の解消で、会場が遠すぎる上に坂道が大変、不参加の場合は何の祝いもない、会場の準備運営の負担が町内会役員に大き過ぎる、等でした。

- ① 敬老会の簡素化を図ります。
- ② 敬老会開催の会場を「桜実会」と「こすもす会館」の二か所とします。
- ③ 開催日は「桜実会」が九月十六日(日曜日)、「こすもす会館」が九月十七日(祝日・敬老の日)とします。
- ④ 来賓席は設けません。

成人部

部長 長島 義夫

成人部は、玉川学園町内会の会員の方々の絆を深め、広めていくと共に、健康維持の為に各種活動をしておりますが、今年度は、次の2点を中心に事業を推進していきます。

且つ公平性を期す為にも、働く現役世代及びそのご家族が広く参加頂ける様に、開催日を平日だけでなく土日祭日にも拡大する予定です。

バス旅行の具体的な行き先については、最近人気となっているものだけでなく、昨年度でのバス旅行時に実施したアンケートに記載されていたものも含めて、ご家族が楽しめるものを選定して行きたいと考えています。

グについては、高齢者の方も参加されることも考え、安全なコースで且つ、距離的にも無理のない所を検討しますが、玉川学園近辺のコースが限られていることから、少し足を延ばした所も視野に入れて、コース選定する予定です。

いずれにしても、成人部としましては、町内会の方々が「楽しかった!」と思ってくれたら!」と思っております。

文化部

部長 石原 明

今年の文化部の活動行事は、一つに毎年町内会の皆さまに好評の「ふるさと寄席」を秋口に行う予定です。

としては普段、さくらんぼホールやこすもす会館で研鑽を積んでいる同好会(音楽体操趣味系など)の発表会のような形で同好会の「輪」が広まる機会を作り、普段の研鑽の成果、そしてPRを兼ねて同好会を増やす場にも利用していただくような場作りイベントを考案しております。

町内会の皆さまからのアイデア、助言、協力などいただければ幸いです。文化部長にまたは町内会事務所などご意見をお寄せください。よろしくお願いたします。

健康ウォーキング(2回) 時期・秋
バス旅行及びウォーキングは、従来より、実施しているものです。今年度については、参加者の年齢層を広げ、

又、健康ウォーキング

願ひ致します。

も一協賛し、老いも若き



更なる新たな試み

またささやかなアイ



環境部

部長 三宅 俊剛

「分ければ資源、混ぜればゴミ」これはよく聞く標語ですが町内会の皆様には着実に実践していただいています。昨年度の資源物の重量は1240トンを超え、市からの補助金で紙紐の購入、憩いの椅子・掲示板・案内板などの新設・修理等を行ない、確実に住民の皆様の生活を豊かにすることに活用されてきています。

- 1. 環境委員会
年4回(5月、9月、12月、3月)開催。各支部選出の環境委員54名からなり、環境に関する種々の課題を検討します。
- 2. 環境リサイクル施設見学勉強会
本年は環境委員を対象とした町内会会員を対象とした2コースを計画しております。場所は未定ですが、環境委員対象は、夏休みに入りお子さんお孫さんの社会見学にもなるよう7月末頃、町内会会員対象は11月頃を予定しています。
- 3. エコフェスタ
昨年より、市役所庁舎で開催される事になりましたが、今年は9月30日(日)開催で環境部はスタンプラリーを担当します。
- 4. 善意の傘の維持管理
各環境委員が、1週間交代で玉川学園前駅構内の北、南側に置いてある「善意の傘」を管理します。どなたかが傘が不足気味になると置いて行って下さり、まさに「善意の傘」となっています。
- 5. 「資源物」抜き取りの監視
資源物(新聞、雑誌、段ボール、古布、スチールアルミ缶、瓶等)の違法回収車を見かけたら違法回収者とは接触せずに、車の車種、登録番号等を町内会事務所にご連絡ください。
- 6. 資源物集積所の管理
資源物回収日が守られていない、回収不能物が放置されている、新たに集積所を設置したい時、関係者間で解決のつかない場合には町内会事務所にご連絡下さい。環境部が調整、処理します。
- 7. 防犯防災、環境パトロール
各地区で自主的に実施されている、防犯防災、環境パトロールに出来る限り環境委員も参加して、環境の改善に取り組みます。
- 8. ごみカレンダーの配布
例年通り業者に依頼して9月上旬に配布します。9月末までには配布が終了しますので、それまでに配布されていない場合には町内会事務所に取り来てください。ご連絡下さい。
- 9. 憩いの椅子の維持管理
故意に壊されたり、危険だと思ふ椅子を見かけたら町内会事務所に

にご連絡下さい。玉ちゃんバスの停留所、急な登り坂に設置を希望される方が多いのですが、道路交通法との兼ね合いが必ず出てきます。しかし、粘り強く当局と話し合い、改善に努めます。

10. 違法広告除却
違法広告除却員が違法広告紙(電柱に貼付、道路に設置したカラーコーンなどに貼付)を見つけた時には除去しますが、他の方が見つけた時には各地区の違法広告除却員または、町内会事務所にご連絡下さい。

広報部

部長 西崎 則江

- 11. 建築協約の仲介
500㎡以上の土地に複数の戸建て住宅の新築、及びすべての集合住宅の建築の際には、「建築協約に基づき、建築業者と近隣住民、町づくりの会との話し合い」の仲介を環境部が行います。皆様のご協力をお願いします。
- 12. 広報部は、毎月一回の「町内会だより」として発行し、そしてホームページの運営管理を行ってまいります。
- 13. 昨年より、ホームページ運営委員会が立ち上がり、広報部員が兼務で二名増え、女性の新幹事も入り四名で活動しています。町内会だより、広報誌の発行までの作業の流れも変わりました。記事を広報部員がホームページの編集用ページに投稿し、承認プログラム上のフローで別の広報

「掲示板の町内会だよりは回覧板のそれよりとは違うものなの？」と最近、この質問をいただくことがありまます。内容は全く同じですが、昨年より20ヶ所の掲示板にカラー版「町内会だより」を掲示するようにしました。広報部は、毎月一回の「町内会だより」として発行し、そしてホームページの運営管理を行ってまいります。

町内会が関わる主な関連団体のご紹介

- 町内会が関わる主な関連団体のご紹介。そこに役員として活動されている町内会の方々をご紹介します。
- ◎玉川学園・南大谷地区町内会自治会連合会(玉南連)
玉川学園・南大谷地区の10町内会・自治会の会長会議。主に町田市町内会自治会連合会からの情報を報告・連絡・相談する会議。
会長 徳力 幹彦
- ◎玉川学園地区社会福祉協議会
「地区社協」として玉川学園で親しまれている。今年度4月に玉川学園7-12-26に移転しました。
副会長 大山 憲一
理事 三宅 俊剛
- ◎こすもす会館
地域の中規模会館、町内会がリードして運営管理している。
委員長 徳力 幹彦
専任幹事 鷹著 宏代
専任幹事 後藤美知子
- ◎さくらんぼホール
地域の中規模集会所、設、ホール施設委員会が運営管理している。
委員長 玉木 信雄
(興人自治会 前会長)
専任幹事 藤本 義信
専任幹事 山田 充子
- ◎玉川学園交通問題協議会・玉川学園コミュニティバス推進委員会
地域の交通、玉ちゃんバスの運行などについて、近隣自治会などと町田市、小田急バス

総務部

部長 古川 常男

総務部を担当することとなりまして古川です。町内会活動は2年半位であり、残念ながら活動の全てをよく分かっている訳ではありません。総務部は町内会活動の全てにかかわるボジ

方々や事務所の事務員の方々のご支援・ご協力をいただきながら頑張りたいと考えています。よろしくお願います。



各地区・地区長・専任幹事の抱負

第一地区

(緑ヶ丘A、B、玉園台、莪台、新莪台)

地区長 中村 庄一

地区長を引き受けて2年目に入ります。今年も町内会活動方針である「安全で安心して住める町づくり」を基本に活動を進めてゆきます。

防災関係では近いうちに必ず起こるといわれる首都直下地震に対し、更なる防災意識を高めるため町五小での総合防災訓練に積極的に参加しましょう。この訓練の際 第一地区

前任の女性幹事のお二人が、第二地区の地域ネットワークを女性ならではの視点でしっかり把握し、近隣地区との繋がりも広がっています。幸いお二人とも町内会全体の活動に残るので力強い限りです。

1. 防犯環境パトロールは、従前通り支部ごとにきめ細かく実施をお願いします。緑の帽子は地域の隙を見せないアピールになり、ボランティア袋は清潔な町に役立ちます。下校時の児童やひとり暮らしの高齢者をさりげなく見守ります。街灯の故障や道路等の破損、空き家や枯れ枝や雑草、いろいろなお目に配

防災隊による独自の防災訓練も予定しています。今年も第二地区の皆さまも参加予定です。

では「白いタオル運動」を行います。地区のあんしん連絡員と連携して会員、非会員を問わず参加を呼び掛けます。この運動も3年目になり参加してくださる方々も少しずつ増えていきます。訓練だけで終わりでなく、本番で災害時に於いても十分に役立ってくれるよう計画します。

昨年は台風で中止になりましたが地区自主

第二地区

(月見ヶ丘A、B、紅葉ヶ丘、桜ヶ丘A、B、C)

地区長 木村 彰男

することが町の安全や暮らし、良き、街並みの美しさに

2. 防災訓練は、AEDや消火器具等の扱いを訓練しておくことと、さらに大規模な火災や崖・家屋の崩壊、食糧供給に近隣者がどう行動するかフット面も大切と考えます。

3. 地域イベントは、隣人と作業や食べることで会話が生まれます。二地区はさまざまな種類の桜があるので、今年も「葉っぱを集めて焼き芋会」と「花を巡って焼き団子」のプロジェクトと共催しますのでご協力をお願いします。

第三地区

(朝日ヶ丘、新玉園台、学園台、南学園台、南ヶ丘)

地区長 篠崎恵美子

初めて地区長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

◎定例地区会の開催を年4回から6回にし、諸問題を話し合い、改善・解決に向け行動します。

◎防火栓個所のポイント補修は自主防災隊長がすでに行動を起こしています。

私は昭和38年16歳の時に都心から玉川学園に転居してきました。当時小田急線は小田原向ヶ丘遊園間は車内喫煙が許されており新宿に行く通学車両の床には、たばこの吸い殻がたくさん落ちていました。自宅前の道路も駅から5、6分にも拘らず舗装されていませんでした。

それから55年経ち町内人口は増加の一途を辿る中で町内会会則の「豊かな環境と住みよ

第五地区

(池の台、松風台A、B、雲雀ヶ丘A、B、夕日ヶ丘A、B)

地区長 塩瀬 和成

第5地区の地区長を兼任されていた大山副会長から引き継ぐこととなりました。塩瀬です。

玉川大学、西隣に金井小学校、大きな公園としてはなかよし公園があり、支部が七つある玉川学園5・6丁目の地区になります。地区内に一戸建て以外にラ

玉ちゃんバスの停留所も二つあります。

町田第五小学校を加

私もおかたがせや作業をいたしました。このおかげでお互いを良く知るようになります。これこそがまさに地区活性化なのです。今年も、内容は変わるかもしれませんが、二度の活

えた小学生の通学路ともなっております。地域の児童と「こんにち

又、地域住民からの要望、意見を収集しより良い町内会づくりに頑張りたいと思います。皆様のご意見、ご要望などいただきましたと思

玉川学園5・6丁目の地区になります。地区内に一戸建て以外にラ

玉ちゃんバスの停留所も二つあります。

町田第五小学校を加

私もおかたがせや作業をいたしました。このおかげでお互いを良く知るようになります。これこそがまさに地区活性化なのです。今年も、内容は変わるかもしれませんが、二度の活

第六地区

(つつじヶ丘、東急台)

地区長 服部 知行

第六地区では、近年増えてきている若い住民の

昨年、地区活性化事業として「第一回 みんなの楽しいコンサート」と「第二回 みんなの防災フェア」を開催しました。

準備が必要で多くの役員の方が打合わせや作業をいたしました。このおかげで

第七地区 (鶯谷、旭ヶ丘東A、旭ヶ丘東B、旭ヶ丘西、星ヶ丘A、向陽台B)

地区長 石原 明

第七地区は坂の街、玉川学園でも特に坂が多い地域と認識しております。そのような地区に650世帯の町内会員が日々生活を営んでおります。

今年度は地区役員の改選に伴い幹事(4名)は私を含め全員が新任、更に支部長・班長も輪番で新任です。

昨年は地区コミュニティアクションを深めるイベント(昨年10月「美しい日本の言葉を調べに乗せて」の実施や日常の月2回の防災環境パトロールへ多くの

方々に参加いただくことにより実績を積み重ねました。今年度も幹事さんをはじめ地区の皆さまとごめ細かく良き談合(フリートーキング)を重ね「無理のない範囲で楽しく」をモットーに地区活動を予定します。

①催し・コスモス会館での7地区に見合う催し、講演を計画します。また外に出て健康ウォーキングやお楽しみ会などを計画します。

②防犯環境パトロール・月2回パトロール

この他にもさまざまな分野で使用がありま

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

「日頃から健康を保持しましょう」にそってこれまでのヨーガ実習・太極拳・リズム体操等グループ利用の他に高齢者体操「町トレ」が加わり毎週14回の健康体操に関する利用があります。

女性グループが主だった調理実習が最近では男性グループの利用が多くなり、午前中に料理の準備をして昼食、時には午後には料理の準備をして夕食をそれぞれ楽しんでる様子が伺えます。

この他にもさまざまな分野で使用がありま

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

また、29年度より毎月最終火曜日の午前の和室を、さくらんぼ管理運営を、玉川学園町内会、玉川学園第一住宅自治会、玉川学園興人自治会、玉川学園松風台自治会、桜ヶ丘自治会で協力して設置した「ホール施設委員会」が行っています。

さくらんぼホール 専任幹事 山田 充子

さくらんぼホールは、地域住民の学びや会合の場として老若男女に愛されおかげさまで昨年15周年を迎えました。

ホール運営の主な業務は毎週火曜日の受付清掃、設備の修繕に加え、町田市・花と緑の会花壇コンクール(平成28・29年度優良賞受賞)の花壇管理等です。施設委員会委員・協力員約50名が力を合わせ、気持ちよく利用していただけるよう活動しております。

第八地区 (星ヶ丘B、向陽台A、松見ヶ丘A1・2、松見ヶ丘B1・2、松見ヶ丘C、化石谷)

地区長 三宅 俊剛

本年度より第八地区の地区長を拝命致しました。

玉川学園全体の問題点となっておりますが、第八地区も住民の高齢化、高齢者の独り住まい、空き家の増加、等々問題は山積してきております。悩んでいても解決いたしません。地区としては地域力を高めるため地道な活動に重点を置き地域内防犯環境パトロールを通し、隣人とのつながり

を強めて、明るく住みやすい地域作りに楽しみながら取り組んでいきたいと思っております。

もう一つの重点テーマの地区活性化への取り組みですが、昨年のそば打ち体験、試食会は好評でした。皆さんが気軽に参加でき、特に子供たちも楽しめる何か良い企画がないか探していきたいと思っております。この一年間皆様のご協力をよろしくお願いたします。

平成8年の竣工以来、玉川学園町内会・東玉川学園睦会の両町内会委員および協力員により自主運営されております。大きな鏡のあるホール50畳、調理実習室20畳、和室10畳が二間あり、それぞれ1時間単位で使用することができます。

利用申し込みは毎週月曜日の午前9時〜午後10時まで会館窓口で受付けています。現在、稼働率は5割とのこと、もつともつと多くの方々に利用していただきたく思っています。

私は毎週火曜、水曜の朝、太極拳で利用しています。七地区の自防防災隊長としては調理室でアルファ化米・ビスケットを使つての試食会を行いました。

今年度はホールで心肺蘇生法やAEDの使い方を実習する予定です。

ごすもす会館 専任幹事 後藤 美知子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

ごすもす会館 専任幹事 山田 充子

ごすもす会館 専任幹事 鷹 宏代

ごすもす会館 専任幹事 藤本 義信

編集後記

町内会の活動をご理解、ご協力をいただくために、本誌を発行しております。今年度は新しい幹事17名に入っているだけで、計32名の役員で活動をスタートしました。一部だけでもお手伝いいただけるサポーターを募集しております。是非、地域活動と一緒に楽しんでみませんか? ご質問、ご意見やご感想がございましたら町内会事務所(042-725-0438またはchonaikai194@bz03.plala.or.jp)までお寄せください。

広報部 一同



Table of staff members for the 30th year, including roles like 会長, 副会長, 幹事, and various department heads with their names and phone numbers.

平成29年度一般会計収支決算報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	29年度予算	29年度実績	摘 要
前年度繰越金	3,339,308	3,339,308	
町内会費	7,900,000	7,836,110	年会費 2,000 円 / 3 ヶ月 500 円
市・補助金	802,000	782,000	町内会世帯割 均等 12,000 円 + 200 円 × 3,950 世帯
その他の収入	0	31,301	80 年誌、他団体よりの印刷費収入
計	12,041,308	11,988,719	

支出の部

(単位：円)

科 目	29年度予算	29年度実績	摘 要
総務 関係 費	消耗品費	130,000	124,898 事務用品 他
	光熱給水費	120,000	97,471 電気 ガス 水道料金
	通信費	700,000	647,005 支部長, 役員, 事務所の電話代 電波利用料 はがき 切手代
	交通費	60,000	38,080 諸交通費
	渉外費	150,000	77,000 会費・市町内会自治会連合会研修費等
	会議費	450,000	402,038 支部長会・幹事会・地区会 他
	備品費	550,000	545,740 印刷機・複写機リース料・パソコン・保管庫・ゼンリン地図 他
	研修費	450,000	327,740 支部長研修会・幹事研修会
	人件費	1,800,000	1,925,850 事務員給与
	図書印刷費	450,000	410,056 印刷用原紙・インク・用紙代金
	保険料	40,000	33,820 事務所火災保険料
	運営費	150,000	119,618 総会費用他
	慶祝費	200,000	213,000 新入学児童へのお祝い・新生児へのお祝い
	弔慰費	200,000	183,000 弔慰金 @3,000 円
雑費	300,000	178,990 回覧配達料 貸金庫使用料 他	
計	5,750,000	5,324,306	
事業 部	広報部	700,000	504,150 広報 町内会だより発行 ホームページ 他
	防犯防災部	450,000	130,197 防災体験学習 防災訓練 他
	環境部	700,000	379,012 資源回収活動 施設見学 他
	高齢者部	630,000	555,697 敬老会 他
	成人部	760,000	530,134 日帰り親睦バス旅行・健康づくりウォーキング 他
	青少年部	240,000	195,461 クリスマスの集い もちつき体験会 他
	文化部	300,000	178,618 落語会 講演会 他
地区活性化	530,000	366,591 第1地区・第2地区・第3地区・第5地区・第6地区・第7地区・第8地区	
計	4,310,000	2,839,860	
地域 助成 金	交通安全協会	10,000	10,000 町田市交通安全協会
	交通問題協議会	30,000	30,000 玉川学園交通問題協議会
	福祉サービス	30,000	30,000 在宅福祉を考える会
	開放プール	5,000	5,000 町田第五小学校プール開放運営委員会 (夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000 玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8丁目・青空子供会
	子どもまつり	70,000	70,000 秋の子どもまつり実行委員会
計	235,000	235,000	
予備費	500,000	0	
支払合計	10,795,000	8,399,166	
収支差引残高	1,246,308	3,589,553	
合計	12,041,308	11,988,719	

平成30年度一般会計予算

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	29 年度実績	30 年度予算	摘 要
前年度繰越金	3,339,308	3,589,553	
町内会費	7,836,110	7,878,000	年会費 2,000 円
市・補助金	782,000	799,800	町内会世帯割 均等 12,000 円十 (200 円× 3,939 世帯)
その他の収入	31,301	0	80 年誌, 他団体よりの印刷収入
合 計	11,988,719	12,267,353	

支出の部

(単位：円)

科 目	29 年度実績	30 年度予算	摘 要
総務 関 係 費	消耗品費	124,898	130,000 事務用品他
	光熱給水費	97,471	120,000 電気 ガス 水道料金
	通信費	647,005	750,000 支部長、役員、事務所の電話代、電波利用料、はがき、切手代
	交通費	38,080	60,000 諸交通費
	渉外費	77,000	150,000 会費、市町内会自治会連合会研修費等
	会議費	402,038	450,000 支部長会、幹事会、地区会、その他の会議
	備品費	545,740	550,000 印刷機、複写機リース料、パソコン維持費
	研修費	327,740	250,000 幹事研修会
	人件費	1,925,850	2,000,000 事務員給与
	図書印刷費	410,056	450,000 印刷用原紙、インク、用紙代
	保険料	33,820	40,000 事務所火災保険
	運営費	119,618	50,000 総会費用他
	慶祝費	213,000	200,000 新入学児童、新生児へのお祝い
	弔慰費	183,000	200,000 弔慰金
雑費	178,990	300,000 回覧配達料 貸金庫利用料他	
計	5,324,306	5,700,000	
事 業 費	広報部	504,150	600,000 広報、町内会だより発行、ホームページ他
	防犯防災部	130,197	360,000 防災体験学習、防災訓練他
	環境部	379,012	540,000 資源回収活動、施設見学他
	高齢者部	555,697	640,000 敬老会 高齢者健康維持増進 地域ケアー活動 他
	成人部	530,134	530,000 日帰り親睦バス旅行、健康づくりウォーキング他
	青少年部	195,461	220,000 クリスマスのつどい、餅つき体験会他
	文化部	178,618	300,000 講演会、落語会他
	地区活性化	366,591	500,000 1 地区～ 8 地区 (2・6 地区 2 回)
計	2,839,860	3,690,000	
地 域 助 成 金	交通安全協会	10,000	10,000 町田市交通安全協会
	交通問題協議会	30,000	30,000 玉川学園交通問題協議会
	福祉サービス	30,000	30,000 在宅福祉を考える会
	開放プール	5,000	5,000 町田第五小学校プール開放運営委員会 (夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000 玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8 丁目・青空子ども会
	子どもまつり	70,000	70,000 秋の子どもまつり実行委員会
	計	235,000	235,000
予備費	0	1,000,000	予算上記載してない支出
支払合計	8,399,166	10,625,000	
次年度繰越金	3,589,553	1,642,353	
合 計	11,988,719	12,267,353	